BUFFALO

コンテンツフィルタ ご利用ガイド

コンテンツフィルタを使用する前に

本書は、すでに本製品を使用してインターネットに接続している方を対象にしています。

まだインターネットに接続していない方は、別紙（または別冊）のマニュアルを参照して、インターネットに接続できるよう本製品を設定してください。
本製品の設定が完了したら、本書の手順にしたがってコンテンツフィルタの設定をしてください。

本書の使い方

本書を正しくお使いいただくための表記上の約束ごとを説明します。

■文中マーク／用語表記

⚠注意 **マーク** 製品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。 この注意事項に従わなかった場合、 身体や製品に損傷を与えるおそれがあります。

メモ **マーク** 製品の取り扱いに関する補足事項、 知っておくべき事項です。

▶参照 **マーク** 関連のある項目のページを記しています。

・文中 [ ] で囲んだ名称は、 操作の際に選択するメニュー、 ボタン、 テキストボックス、チェックボックスなどの名称を表わしています。

目　次

第１章　コンテンツフィルタとは

第２章　コンテンツフィルタを使ってみよう

第1章
コンテンツフィルタとは

1.1 コンテンツフィルタとは

コンテンツフィルタとは、 見せたくない内容や与えたくない情報を含むホームページ（有害サイト） を閲覧できないようにするサービスです。

※ このサービスでは、 お客様が安心で快適にインターネットをご覧いただけるよう、 有害サイトのチェックを厳重に行っております。 アクセスしようとするサイトが指定された有害サイトかどうかを確認するだけでなく、 そのページにリンクされている文字や画像、 URL などが有害でないか入念にチェックしているため、 リンクが多いページなど一部のページでは閲覧に時間がかかることがあります。 あらかじめご了承ください。

■ コンテンツフィルタを使ってできること

コンテンツフィルタを使用することで、 以下のようなことができます。

・ **子供に見せたくないホームページを見られないようにする**

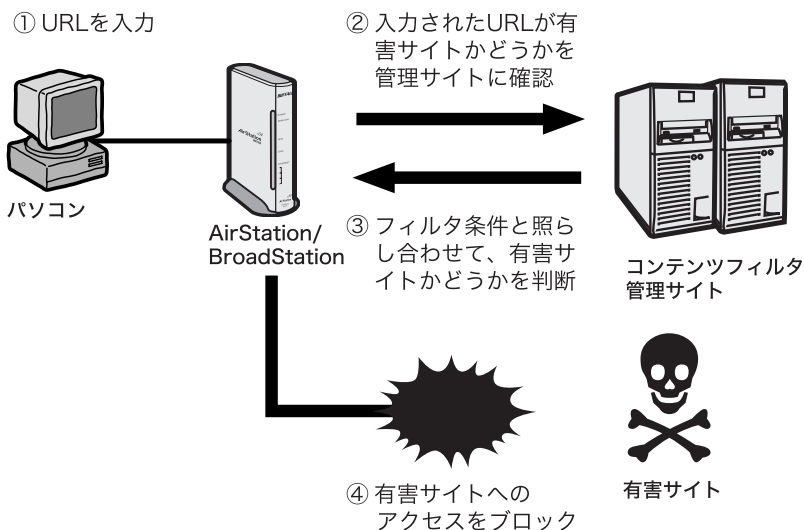
⇒ アダルトサイトやアルコールなど、 有害なページにアクセスできなくします。

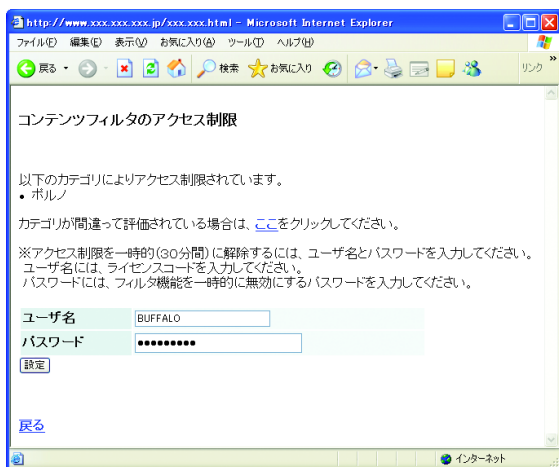
・ **これは見てもいいと思うホームページを見られるようにする**

⇒ 「このカテゴリのページは見せたくないが、 このページだけは見てもよい」 という設定ができます。

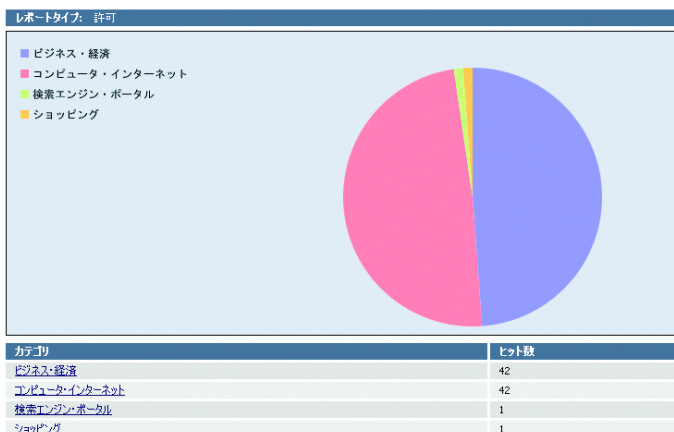
・ **子供がどんなホームページにアクセスしたか確認する**

⇒ レポート機能で、 どんなホームページにアクセスしたか履歴を確認できます。

■ コンテンツフィルタのイメージ図

■　有害サイトにアクセスしようとすると．．．

コンテンツフィルタの対象となる有害サイトへアクセスしようとすると、 ブロックされて以下のような画面が表示されます。

メモ
- コンテンツフィルタの設定者がフィルタされたホームページに一時的にアクセスしたい場合は、パスワード（一時解除パスワード）を入力することで、約 30 分間フィルタを解除することができます。
- フィルタが解除されるのは、設定を行ったパソコンに対してのみです。それ以外のパソコンに対しては、フィルタは解除されません。
- パスワード（一時解除パスワード）の初期設定値は、「コンテンツフィルタの利用登録」（P8）で設定するパスワードです。
- パスワード（一時解除パスワード）は、コンテンツフィルタの設定画面（本製品の設定画面から、[コンテンツフィルタの設定を行う] ― [コンテンツフィルタ解除] ― [一時解除パスワード]）で変更することができます。

■ コンテンツフィルタのレポート機能

コンテンツフィルタの 「レポート機能」 を使用すると、 ホームページへのアクセス集計を確認することができます。 それにより、 本製品の利用者がどんなホームページへアクセスしたかを確認することができます。

メモ
- レポート機能を使用するには、コンテンツフィルタ有料サービス（レポート機能付きサービス）への申し込みが必要です。
- レポート機能についての詳細は、「サンプル画面」（本製品の設定画面から［コンテンツフィルタの設定を行う］－［レポート機能のサンプル画面］をクリックすると表示）を参照してください。

1.2 コンテンツフィルタの利用にあたって

コンテンツフィルタは有料サービスですが、 購入前に動作やサービス内容を確認していただだけるよう、 無料トライアル期間 （利用登録後 1ヶ月間） を設けております。

無料トライアル期間終了後も引き続きコンテンツフィルタを使用したい場合は、 有料サービスの申し込みが必要です。 有料サービスについてのご案内は、 無料トライアル期間終了前に、 弊社から E メールにてお知らせします。

メモ

- **コンテンツフィルタ有料サービスには、 レポート機能付きサービスと、 レポート機能を省略したサービスの 2 種類があります。 詳しくは、 弊社からお送りする E メールを参照してください。**
- **無料トライアル期間中は、 レポート機能を除くコンテンツフィルタのすべての機能を使用することができます。**
- レポート機能についての詳細は、「サンプル画面」（本製品の設定画面から［コンテンツフィルタの設定を行う］－［レポート機能のサンプル画面］をクリックすると表示）を参照してください。

⚠注意 コンテンツフィルタを利用する環境により、以下の制限事項があります。

・ 本製品をプロキシサーバの存在するネットワーク環境でお使いの場合、コンテンツフィルタは利用できません。

1

コンテンツフィルタとは

1.3 コンテンツフィルタの利用登録

コンテンツフィルタを使用する前に、利用登録をする必要があります。以下の手順で登録を行ってください。

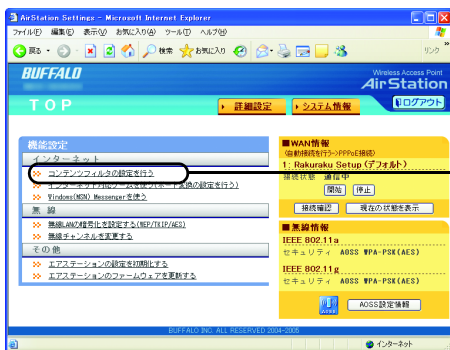
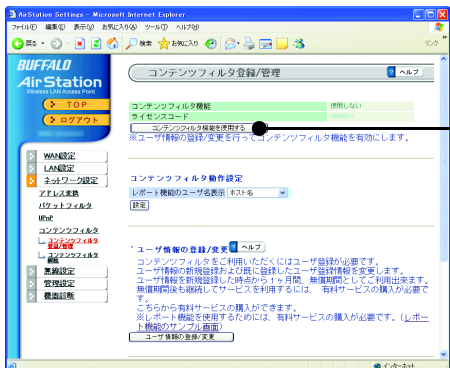
メモ

- 利用登録はインターネット経由で行います。まだインターネットに接続していない方は、別紙（または別冊）のマニュアルを参照して、インターネットに接続できるよう本製品を設定してください。
- 利用登録完了後、実際にサービスが開始されるまで、約15分〜30分程度かかります。

1 別紙（または別冊）のマニュアルを参照して本製品の設定画面を表示します。

2

機能設定の［コンテンツフィルタの設定を行う］をクリックします。

3

［コンテンツフィルタ機能を使用する］をクリックします。

4 ［設定］をクリックします。

5

1 本製品の製造番号を入力します。
製造番号（14 桁の数字）は、製品本体に貼り付けられているシールで確認できます。

※ すでに弊社ダイナミックDNSサービスや、弊社コンテンツフィルタサービスをご利用の場合は、ユーザ ID とパスワードと製造番号を入力してください。

2 ［登録・再設定］をクリックします。

6 「個人・法人」（選択）、「住所」、「氏名・法人名」、「電話番号」、「パスワード」、「電子メールアドレス」を入力し、製品シリアル番号欄の下にある「コンテンツ・フィルタを利用する」にチェックマークがついていることを確認して［登録］をクリックします。

7 登録内容を確認して、［登録］をクリックします。

8 ［コンテンツフィルタ利用登録開始］をクリックします。

9 会員規約を確認し、同意できる場合は［同意して登録する］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

10

1 確認　登録内容を確認します。

2 クリック　［ルータに登録］　をクリックします。

11

1 入力　「ユーザー名」欄 にroot（小文字）、「パスワード」欄に本製品に設定した管理パスワード※を入力します。

※ 管理パスワードは、 出荷時は設定されていません。

2 クリック　［OK］　をクリックします。

メモ　上記の画面（ユーザー名とパスワードの入力画面）が表示されないときは

Windows の TCP/IP のプロパティ画面で、 IP アドレスの設定を確認し、 DNS サーバの設定※を行ってください。

パソコンの IP アドレスを固定している場合 ：
DNS サーバアドレスに本製品の LAN 側 IP アドレスを設定してください。

パソコンの IP アドレスを自動取得にしている場合 ：
「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」 (または 「DNS を使わない」) を選択してください。

※ 設定手順については、 弊社ホームページ（http://buffalo.melcoinc.co.jp/qa/index.html） の Q&A 情報 (QA-ID ： BUF7614) を参照してください。

以上で利用登録は完了です。

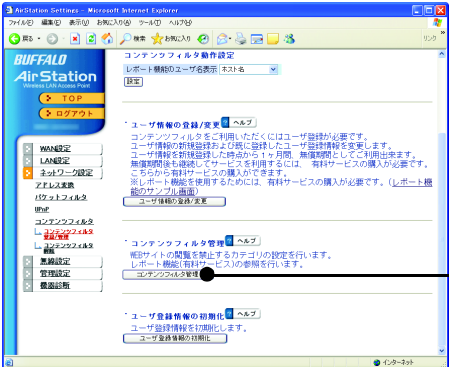
次へ　第 2 章の「フィルタの設定をする」（P12）へ進みます。

第2章 コンテンツフィルタを使ってみよう

コンテンツフィルタの基本的な使用方法について説明します。

2.1 フィルタの設定をする

コンテンツフィルタの利用登録が完了したら、 フィルタの設定をします。

メモ　フィルタの設定完了後､実際に設定内容が反映されるまで､約15分～30分程度かかります。

1　別紙 （または別冊） のマニュアルを参照して本製品の設定画面を表示します。

2

機能設定の ［コンテンツフィルタの設定を行う］ をクリックします。

3

［コンテンツフィルタ管理］ をクリックします。

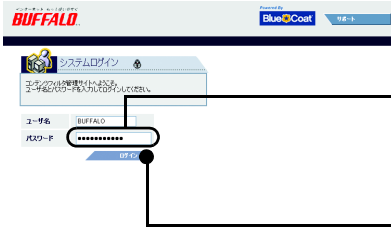
4　［設定］ をクリックします。

5

「コンテンツフィルタの利用登録」で設定したパスワード（P10）を入力します。

［ログイン］をクリックします。

メモ　ユーザ名は、「コンテンツフィルタの利用登録」で登録した「ライセンスコード」（P10）を使用します。（すでに入力されているため、変更する必要はありません）

6

［方針］をクリックします。

パスワード変更に関してのご注意

コンテンツフィルタ管理サイト (上記の手順 6 の画面) では、 パスワードを変更することができますが、 パスワードを変更すると、 管理サイトにログインできなくなってしまいます。パスワードは変更しないでください。

※ パスワードを変更して、 ログインできなくなってしまった場合は、 弊社ホームページの Q&A 情報 （http://buffalo.melcoinc.co.jp/qa/index.html） をご参照ください。

⇒ 次ページへ続く

7

閲覧を禁止したいホームページのカテゴリにチェックマークをつけます。

各カテゴリについての説明は、コンテンツフィルタ管理サイト（http://sitereview.cwfservice.net/catdesc.jsp?referrer=null&host=%3Clocalserver%3E&port=%3Clocalport%3E）を参照してください。

［設定］をクリックします。

メモ 「Block Unrated URLs」のチェックボックスについて

コンテンツフィルタ管理サイトのデータベース上にないホームページへアクセスしようとした際、管理サイトがどのように動作するかを設定します。
（通常はチェックマークを外した状態でご使用ください）

チェックマークをつけると、管理サイトのデータベース上にないホームページへのアクセスをすべてブロックします。
チェックマークを外すと、上記の画面で設定したカテゴリのホームページへのアクセスのみをブロックします。

メモ 「ダイナミックリアルタイム評価を動作可能にする」のチェックボックスについて

コンテンツフィルタ管理サイトのデータベース上にないホームページへアクセスしようとした際、管理サイトがどのように動作するかを設定します。
（通常はチェックマークをつけた状態でご使用ください）

チェックマークをつけると、「ホームページをどのカテゴリに分類するか」を管理サイトがその場で判断します。（分類できなかった場合、「その他」のカテゴリに分類されます）
チェックマークを外すと、管理サイトは、対象となるホームページを一時的に「その他」のカテゴリに分類します。（その後、各カテゴリに分類します）

以上でコンテンツフィルタの設定は完了です。

ここまででの設定が完了すると、本製品に接続したパソコンすべてに対してコンテンツフィルタが適用されます。

メモ 特定のパソコンをコンテンツフィルタの対象から外すこともできます。その場合は、「特定のパソコンをフィルタの対象から外す」（P15）を参照してください。

2.2 特定のパソコンをフィルタの対象から外す

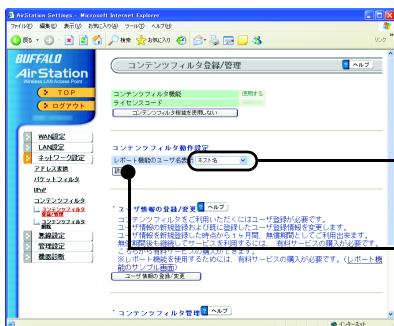
ある特定のパソコンをコンテンツフィルタの対象から外したい場合は、 以下の設定をします。

メモ　例えば、「現在使用しているパソコンからは、すべてのサイトにアクセスしたいが、子供のパソコンからは有害サイトにアクセスできないようにしたい」という場合に以下の設定します。

1　別紙 （または別冊） のマニュアルを参照して本製品の設定画面を表示します。

2

1 クリック　機能設定の［コンテンツフィルタの設定を行う］をクリックします。

3

1 選択　コンテンツフィルタがユーザを識別する方法を指定します。

ここでは例として、 ［ホスト名］ を選択します。

2 クリック　［設定］ をクリックします。

メモ

- 「ホスト名」の他、「IP アドレス」、「MAC アドレス」、「IP&MAC アドレス」により、ユーザを識別できます。
- 本製品の DHCP サーバ機能が無効になっている場合やパソコンの IP アドレスを固定にしている場合は、「IP アドレス」または「MAC アドレス」または「IP&MAC アドレス」を選択してください。

4　［設定］ をクリックします。

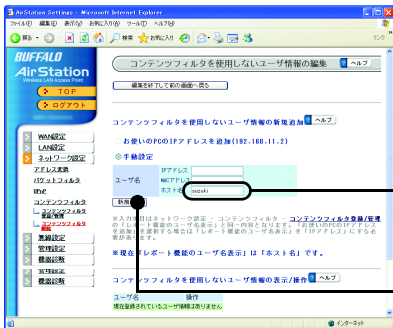
⇒ 次ページへ続く

5

［コンテンツフィルタ解除］ をクリックします。

6

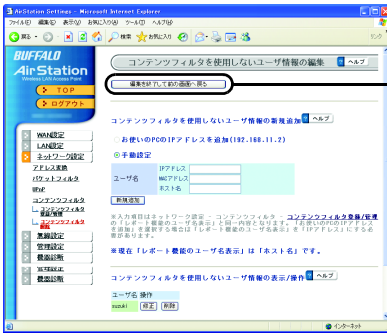
［コンテンツフィルタを使用しないユーザ情報の編集］ をクリックします。

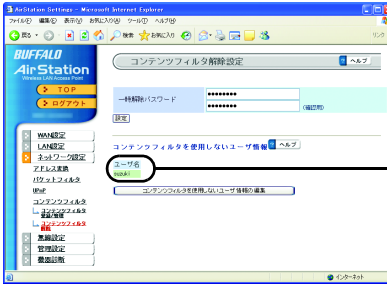
7

フィルタを適用しないホスト名を入力します。

［新規追加］ をクリックします。

メモ

- ホスト名とは、「コンピュータ名」のことです（Windows パソコンの場合）。
- ホスト名は、マイコンピュータのプロパティ画面で確認することができます。
- ホスト名は、半角英数字と「-」「.」記号の 15 文字までで設定してください。（ただし「-」から始まる、または「-」で終わる名称は設定できません）

8

［編集を終了して前の画面へ戻る］ をクリックします。

9

手順 7 で追加した内容が反映されていることを確認します。

以上で設定は完了です。

2.3 特定のホームページへのアクセスを禁止 / 許可する

コンテンツフィルタのカテゴリ設定に関係なく、 特定のホームページへのアクセスを禁止 （または許可） したい場合は、 以下の設定をします。

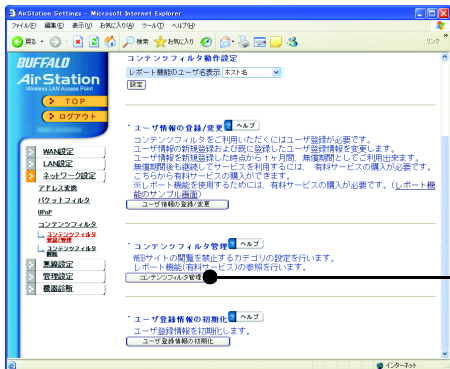
メモ　設定完了後、実際に設定内容が反映されるまで、約 15 分～ 30 分程度かかります。

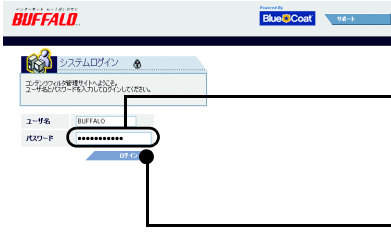
1　別紙 （または別冊） のマニュアルを参照して本製品の設定画面を表示します。

2

1 クリック

機能設定の ［コンテンツフィルタの設定を行う］ をクリックします。

3

1 クリック

［コンテンツフィルタ管理］ をクリックします。

4　［設定］ をクリックします。

5

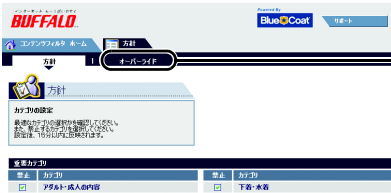
「コンテンツフィルタの利用登録」で設定したパスワード（P10）を入力します。

［ログイン］をクリックします。

メモ　ユーザ名は、「コンテンツフィルタの利用登録」で登録した「ライセンスコード」（P10）を使用します。（すでに入力されているため、変更する必要はありません）

6

［方針］をクリックします。

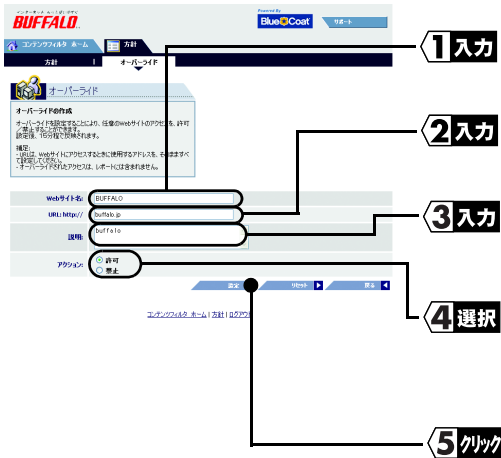
7

［オーバーライド］をクリックします。

8

1 クリック

［新しいオーバーライド］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

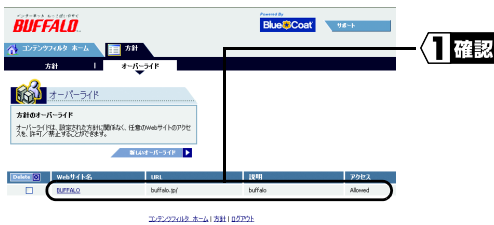
9

1 入力　「Web サイト名」 を半角英数字で入力します。

2 入力　ホームページのアドレスを入力します。

3 入力　Web サイト名に対する説明を半角英数字で入力します。（省略することもできます）

4 選択　対象となるホームページへのアクセスをどうするかを設定します。

5 クリック　［設定］ をクリックします。

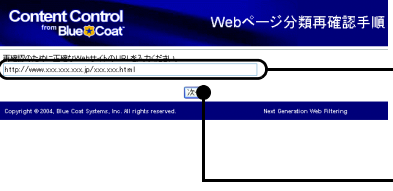
10

1 確認　設定内容が登録されたことを確認します。

（アクセスを許可した場合は、 アクセス欄に 「Allowed」、 アクセスを禁止した場合は、 「Blocked」 と表示されます）

※ 設定内容を削除したい場合は、この画面で横のチェックボックスをクリックしてチェックマークをつけ、 ［Delete］ をクリックしてください。

以上で設定は完了です。

2.4 正しくフィルタされないときは

「フィルタしたはずのホームページにアクセスできてしまう」、「フィルタしていないはずのホームページが、誤ってフィルタされてしまう」場合は、以下の手順でコンテンツフィルタの管理サイトへ連絡することができます。

メモ　連絡されたホームページは、一度コンテンツフィルタの管理サイトで確認が行われるため、反映されるまでに時間がかかることがあります。また、内容によっては反映されないこともありますので、あらかじめご了承ください。

■ 特定のホームページがフィルタされない場合

例えば、「ポルノサイトをフィルタするように設定したにもかかわらず、特定のポルノサイトが表示されてしまう」といった場合は、以下の手順でコンテンツフィルタの管理サイトへ連絡できます。

1 「フィルタの設定をする」(P12)の手順1～5を参照して、コンテンツフィルタの管理サイトにログインします。

2

［Webサイト確認］をクリックします。

3

フィルタの対象にしたいホームページのアドレスを入力します。

［次へ］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

2 コンテンツフィルタを使ってみよう

4

フィルタリングサービスで「Buffalo」を選択します。

E メールアドレスを入力します。

ホームページがどのカテゴリに属するかを選択します。

［次へ］をクリックします。

以上で設定は完了です。

■ 誤ってホームページがフィルタされた場合

例えば、「教育に関するホームページにアクセスすると、ポルノサイトと誤認識されてフィルタされてしまう」といった場合は、以下の手順でコンテンツフィルタの管理サイトへ連絡できます。

1

クリックします。

2

Ｅ メールアドレスを入力します。

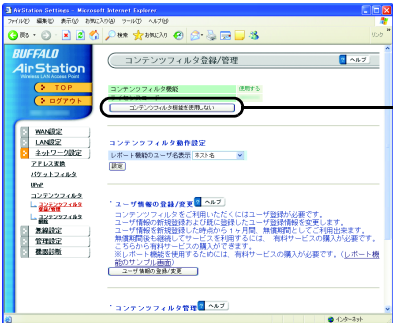
ホームページがどのカテゴリに属するかを選択します。

［次へ］ をクリックします。

以上で設定は完了です。

2.5 コンテンツフィルタ機能を一時的に停止したいときは

コンテンツフィルタ機能を一時的に停止したい場合は、 以下の手順で本製品の設定を変更してください。

⚠注意 設定を変更しない場合、コンテンツフィルタ機能の利用期限が過ぎるとインターネットに接続できなくなりますので、ご注意ください。

1 別紙（または別冊）のマニュアルを参照して本製品の設定画面を表示します。

2

機能設定の［コンテンツフィルタの設定を行う］をクリックします。

3

［コンテンツフィルタ機能を使用しない］ をクリックします。

4 ［設定］ をクリックします。

以上で設定は完了です。